

ま え が き

この学生生活調査は、大阪大学の学生の勉学・研究環境を充実させるための資料として、学部学生および大学院学生の経済状態・生活環境・健康状態・修学状況・課外活動・就職活動等を中心に、学生生活の実態や意識・要望を把握するために実施してきたもので、本年度で22回を数えます。ほぼ4年毎に実施されていますが、とりわけ今回は大阪大学の第1期中期計画の終了時に当たり、さらに大阪外国語大学との統合後初めての調査でもあることから、学生が置かれている状況が如何に変化したかを知る上で極めて重要な情報を含んでいると考えられます。

調査にあたっては、大阪大学学生生活委員会のもと学生生活調査検討部会を設置し、調査方法・項目について検討することから出発し、結果の分析と報告書作成までを担当しました。今回の調査では、学生の置かれている状況、考え方の変化を知るため、過去との継続性を考慮して調査項目を設定しました。調査対象の学生は、各学部・各研究科に在学する学生（留学生を含む）としました。

調査方法につきましては、インターネットによるウェブベース方式で行いました。平成14年度にこの方式で試行されましたが、回収率が悪かったことから、前回（平成18年度）は紙面による回答方式に戻っていました。今回は回収率を改善するために、ホームページ、ポスター、オーパスなどのツールを利用して学生への周知を図った結果、学部学生2297名、大学院学生693名からの回答を得ることができ、今回の調査結果は、学生全体の意見をかなり反映しているものと思われます。

かかるアンケートの集計・分析は委員の先生方、事務の熱心な作業のおかげでこのたび無事とりまとめることが出来ました。大阪大学の全部局に配布されますので、関係各位におかれましては、本学における学生生活環境の充実のための基礎資料として是非ご活用していただきたく、心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、この度の調査にあたり、長時間・多項目にわたり回答して頂いた学生の皆さん、ならびに長期にわたり作業に協力いただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成22年10月

大阪大学学生生活委員会